

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 11 月 25 日

事業所名 マザーズ野洲

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	福井本部からの社内監査実施や、相談員への聞き取りをおこなっている。	評価は行っていないが、コンプライアンスに関しては社外窓口で弁護士に依頼しているため、業務改善につなげられている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に数回オンラインで全社員対象に研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれの療育に担当を決めて、他教室と連携しながらプログラムの立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムは曜日固定せず、様々な活動に参加できるよう配慮し予定表を作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇中は、平日にできないプログラムを設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回以上行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談支援事業所の会議は今までなかったが、その他市や学校主催の会議には対象児童に最も詳しい職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校への送迎時等に情報共有をしたり、トラブル発生時には迅速に電話で連絡を行っている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		開所が3月だったため、移行支援会議に参加できていないが、今後は就学前の園との情報共有に努める。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在まで該当児童がいないため実施していないが、今後該当児童がいる場合は他事業所と情報共有し支援が途切れないようにする。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連絡があった研修には参加するようにしている。	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現状放課後児童クラブや児童館との交流の機会を設けられていないが、今後保護者の意向も取り入れながら実施できる体制を構築していく。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		今日の様子を Bridge アプリや口頭で伝え、やりとりしている。	
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		現状ではペアレント・トレーニング等の支援は行えていないが、今後外部研修への参加で理解を深め、実施できるような体制を整える。	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的な面談、送迎時等に保護者の相談に応じている。	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在まで保護者会等は実施できていないが、今後保護者同士が繋がれる場を設定する(セミナー開催時など)。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			

33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎日の活動はブログやbridgeで報告しており、行事予定は毎月予定表を発行している。	
34	個人情報に十分注意している	○		個人情報書類は鍵付きのキャビネットに保管している。	
35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現状は実施できていないが、今後バザーなどで交流することを検討している。

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		2カ月に1回必ず避難訓練を行っている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修へ参加し、年1回以上社内研修を行っている。	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		運営規定に記載し、保護者に説明することを徹底していく。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメントをとる際に必ず確認している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			